

ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォーム設立記念シンポジウム

～誰もが助けてといえる社会に～

今、日本では、社会環境の変化により人と人との「つながり」が希薄化し、孤独・孤立の問題が顕在化・深刻化しています。

静岡県では、行政、NPO、社会福祉協議会、社会福祉法人、企業等が協働し、それぞれの得意分野を生かして孤独・孤立に対応していくため、「ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォーム」を設置しました。

本シンポジウムは、課題の共有や他県の先駆的な取組を学び、孤独・孤立を予防する地域づくりを推進することを目的に開催します。

日時

令和5年11月20日(月) 13:00～16:00

集合・ZOOM
観覧無料
要事前申込

対象

県内自治体、NPO、福祉団体等

会場

クーポール会館 8-A会議室
(静岡市葵区紺屋町2-2)

※会場の定員は60名です。

※静岡駅から会場まで徒歩5分です。

※公共交通機関を御利用ください。



13:00～

開会
静岡県健康福祉部福祉長寿局

13:10～

【基調講演】
「政府の孤独孤立対策とNPO等民間セクターの役割」
講師 内閣官房孤独・孤立対策担当室 政策参与 大西 連さん

14:20～

【パネルディスカッション】
テーマ「孤独・孤立を予防する地域づくりに向けて」
～NPO・自治体による実践の成果と課題～
コーディネーター 静岡県立大学 国際関係学部 教授 津富 宏さん
コメンテーター 内閣官房孤独・孤立対策担当室政策参与 大西 連さん
パネリスト 神奈川県座間市役所 孤独孤立対策担当 谷田 亮さん
生活困窮者支援担当 武藤 清哉さん
パネリスト 特定非営利活動法人あかね 代表理事 中山 遼さん

～16:00

【質疑】 【総評】

*研修会後、2週間動画を限定配信する予定です。

シンポジウムお申込み

申込締切
11月13日

静岡県社会福祉協議会
権利擁護課・地域福祉課
054-254-5237

お申し込みは下記フォームまたはこちらから
申し込みフォーム <https://onl.la/NQJTAnR>



○登壇者紹介○



内閣官房孤独・孤立対策担当室 政策参与 大西 連さん

認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長、新宿ごはんプラス共同代表。20代前半よりホームレス状態の方、生活困窮された方への相談支援に関わる。また、生活保護や社会保障削減などの問題について、現場からの声の発信や政策提言をおこなう。

令和3年6月より内閣官房孤独・孤立対策担当室 政策参与に就任。



神奈川県座間市役所 孤独孤立対策担当 谷田 亮さん (左) 生活困窮者支援担当 武藤 清哉さん (右)

同市は人口13万人。生活困窮者支援の取り組みでは全国から注目される。同市生活援護課は生活保護や就労支援、子どもの学習支援など様々なサービスを提供し、自治体とNPO法人などの民間団体(「チーム座間」)がタッグを組むことで「断らない」支援を実現している。

座間市に関する書籍「誰も断らない こちら神奈川県座間市生活援護課」



特定非営利活動法人あかね 代表理事 中山 遼さん

小学生に5年間、高校時代に半年の不登校を経験、自らの経験を生かした支援をめざし、不登校・引きこもりの子どもや若者その家族の支援を行うNPO法人あかねの代表理事、岡山市スクールカウンセラー、総社市ひきこもり支援等検討委員などを務める。

同法人は令和4年山陽新聞賞(社会部門)奨励賞受賞。



静岡県立大学 国際関係学部 教授 津富 宏さん

法務官僚、社会学者(犯罪学・刑事政策・評価研究・青少年自立支援)。静岡県立大学キャリア支援センターセンター長・学生部副部長・国際関係学部教授・大学院国際関係学研究科教授。

法務省矯正局調査係係長、浪速少年院教育部門統括専門官、矯正研修所教官、国際連合アジア極東犯罪防止研修所教官、静岡県立大学国際関係学部助教授、静岡県立大学国際関係学部准教授などを歴任。

ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォーム 加入団体募集

対 象

- ・地域貢献や地域課題の解決に関心のある団体
- ・行政・福祉団体や企業との連携に関心のある団体
- ・入会金・年会費無料
- ・フォームまたはQRコード等から申込み

<https://onl.sc/DXkb4gY>

